

第1回（仮称）湯本豪一記念 日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）  
アドバイザー委員会 議事要旨

1. 日時

平成28年12月19日（月）14:00～16:00

2. 場所

三次市役所 603会議室

3. 出席委員（五十音順）

植田千佳穂，杉本好伸，湯本豪一

4. 議事

- ① 委員長選出
- ② 基本計画（素案）について《非公開》

5. 議事要旨

- ① 委員長選出
  - ・ 委員による互選の結果，植田委員が委員長に選出された。
- ② 基本計画（素案）について
  - ・ 上記の議案について，事務局より説明後，討議が行われた。
  
  - ・ 主な意見は以下のとおり。

（検討内容について）

- ・ 博物館が必ずしも当地の観光のスタートではない場合もある。公共機関で来た場合，巴橋から三次地区への想いが始まる。博物館に来るまでに，三次の空気や地勢などを楽しんでくる。博物館までの道中を大切にして，町全体に結び付けていくことができないか。
- ・ 地域的な背景を含めて，展開していかないと，来館者の体験が平面的になると思う。立体的に面白い体験として展開していく必要がある。
- ・ まち全体での博物館構想。点ではない面としての博物館構想。全体でどのように見てもらえるか。まちづくりや観光など，様々なものとリンクしていかないといけない。まちづくりや観光の部署との情報共有・意見交換の場を早めに設けることも重要と考える。

(入館者数について)

- ・近隣類似施設を参考に見通しが示してあるが、更に、類似施設の入館者数を調査して欲しい。
- ・子どもに来てもらうということは重要。カリキュラムとして来てほしいが、なかなか調整が難しいことなので、早いうちからの学校との調整が必要。

(展示内容について)

- ・開館後しばらくは、三次市所蔵物と湯本コレクションとで年間数回の企画展を実施するといったイメージか。その後の企画展については、どのような切り口でどのような展示をするか、検討が必要。
- ・展示という使命と資料のコンディション維持を両立させるには、紙資料では3週間が一つの展示替えの目安。
- ・展示において、日本の妖怪の広がりを展開できる。
- ・オープニング時は、まず湯本コレクションを観たいという来館者が多いと思われる、オープニングの時については、湯本コレクションを主体とした展示にすることもあり得るのではないか。
- ・「百鬼夜行の世界」や「大石兵六の世界」といったような切り口で企画展を実施することも可能と考える。

(事業内容について)

- ・妖怪に興味がある人の博物館研修プログラムといったようなことも展開としていくことも考えられる。
- ・既存の妖怪関連資料データベースとして様々なものがあり、連携が必要。

6. 部分非公開の理由

(仮称)湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)の基本計画(素案)については、施設、事業、運営等について作業の途中過程を事務局から説明し、委員にそれぞれの立場から忌憚りの無い発言を頂いた上で、今後、総合的に再整理して基本計画として取りまとめていくことにしている。そのため、会議を公開することにより不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、非公開にて委員会を開催し、議事概要について公表することとした。